



Overseas Fishery Cooperation Foundation of Japan

評価報告書

パプアニューギニア独立国

— 2024年度 地域巡回・拠点機能回復等推進事業 —

(終了時評価—2025年4月)

プロジェクトの概要

国名	パプアニューギニア独立国
プロジェクト名	2024年度 FDAPIN VII プロジェクト (地域巡回・拠点機能回復等推進事業)
実施期間	2024年8月15日(覚書署名)～2025年3月31日 ※修正 MOU 署名 2023年7月18日
覚書署名省庁名 及び 事業実施機関	覚書署名省庁：水産公社 (NFA : National Fisheries Authority) 実施機関：水産公社及び各州水産局

プロジェクト実施の経緯と背景

パプアニューギニア独立国(以下「PNG」という。)は、「国家開発戦略計画(PAPUA NEW GUINEA DEVELOPMENT STRATEGIC PLAN 2010-2030)」において、地域漁民の漁業振興のため、冷蔵施設及び漁船・その他機器の提供等を重要な施策の一つとしている。これらの開発戦略計画の下、NFAは、各種の漁業振興計画を実施しているが、同国の水産関連施設は故障や老朽化或いは運営管理の不備により本来の機能を発揮することができないものがあり、漁業振興計画の推進に支障を来している。

このような状況の中、NFAは自国の漁業振興計画を推進するため、公益財団法人海外漁業協力財



団（以下「財団」という。）に対し、水産関連施設等の修理・修復及び技術移転並びに運営管理等に関する指導・助言を要請した。

財団は、我が国と PNG との漁業関係の重要性を踏まえ、この要請に応え、同国政府の漁業振興計画を支援するため、本プロジェクトを実施する方針を決定した。

目標・成果・活動内容等

上位目標	修理・修復対象施設周辺地域の漁業の生産性が向上し、小規模漁業が発展する。
プロジェクト目標	水産関連施設が修理・修復され、当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。
成 果	<p>① ロレンガウ漁業センターの機能強化及び技術指導 船外機付きボート、車両の供与により安定的に漁獲物集荷及び氷供給が可能となり、周辺沿岸漁民の漁業活動が活性化される。また、カウンターパートがそれらの運用及びメンテナンスについて同センターの管理者への指導が可能となる。</p> <p>② オロ漁業センターの機材設置及び技術指導 製氷機、冷凍庫、ブラストフリーザー等が設置され、稼働することにより、同センターの機能が回復し、周辺の沿岸漁業が活性化される。また、カウンターパートがこれらの設置要領及び試運転時の要領を確認することにより、さらに関連する知識の習得が可能となる。</p> <p>③ 冷凍機器講習会の開催 漁業センターで製氷機を運転しているオペレーターが製氷機のトラブルシューティングや簡単なメンテナンスの知識と技術を習得し、製氷機の安定的な稼働に繋がる。</p>
活 動	<p>① ロレンガウ漁業センターの機能強化及び技術指導 ・ボート、船外機の供与、ピックアップトラックの換装 ・上記機材の適切な運用とメンテナンスに関する指導</p> <p>② オロ漁業センターの機材設置及び技術指導 製氷機、冷凍庫、ブラストフリーザーの設置及び関連技術指導 (NFA によるオロ漁業センター建屋の改修工事は開始できなかったため、計画していた設置工事及び技術指導は実施できなかった。)</p> <p>③ 冷凍機器講習会の開催 全国 10 か所の製氷施設のオペレーター及び国立水産訓練校 (National Fisheries College : 以下「NFC」という。) の講師を対象とした、製氷機の保守管理に関する講習会の開催。</p>

投 入	<p>財団側</p> <p>1) 専門家 計画 第1回巡回指導： 冷凍機器専門家 業務調整専門家 2024年10月上旬～10月下旬（約30日間） 第2回巡回指導： チームリーダー/漁船機関・冷凍機器専門家 2025年2月中旬～3月中旬（約30日間）</p> <p>実績 第1回巡回指導： 冷凍機器専門家 2024年9月30日～2024年10月30日（31日間） 業務調整専門家 2024年10月7日～2024年10月30日（24日間） 第2回巡回指導： チームリーダー/漁船機関・冷凍機器専門家 2025年1月20日～1月31日（12日間）</p> <p>延日数 計画：90人日 実績：67人日（計画対比：74.4%）</p> <p>2) 主な資機材 ・ロレンガウ漁業センターの機能強化及び技術指導 ピックアップトラック1台、 2ストローク船外機60馬力1台、23ft FRP製ボート1隻 ・冷凍機器講習会の開催 講習会用製氷機のメンテナンスと講習会に必要な資材</p> <p>相手国側</p> <p>1) 主なカウンターパート National Fisheries College 1名 Project Officer, NFA 1名</p> <p>2) プロジェクト関連予算、土地、施設等 ・冷凍機講習会参加者の航空券、滞在費、宿泊施設の提供 ・州政府水産関連事務所における電気・水道・電話の無償提供</p>
-----	--

評 価 事 項

◆ 妥 当 性

1. 対象国政府の水産振興政策との整合性

本プロジェクトは、PNGの国家開発戦略計画に基づくNFAの事業計画に合致した事業内

容であり、妥当と判断される。

2. 協力ニーズ（対象国、対象地域）との整合性

PNG 政府は、国家開発計画において地域漁民のための製氷・冷蔵施設及び漁船等の取得を重要な施策の一つとしており、水産関連施設の機能強化、修理・修復及び現地技術者への技術移転並びに関連組織への指導・助言を要請している。事前調査において、各漁業センターの周辺地域では、漁業センターの沿岸漁業振興機能の発揮に必要な設備の安定稼働が求められていることが確認されている。

3. 環境に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトでは、直接環境に影響を与える活動はなく、冷媒及び機械の廃棄部品等の扱いについても、PNG の法規に従い、特に冷媒に関しては専用回収容器を用いており、常に環境保全に配慮している。

4. 水産資源に対する配慮はなされていたか

ロレンガウ漁業センターの機能強化は、施設に求められる能力の向上・復活を図り、さらにその運営・管理に対する助言を行うものである。また、冷凍機器講習会の実施は製氷機の安定稼働に資するものである。

これらにより間接的に現地沿岸漁業者の漁業活動も活発になることが想定されるが、資機材の供与による漁獲能力の向上は見込まれず、漁獲圧力の増加は限定的と考えられ、水産資源への負荷を大きくするものではない。

5. その他（プロジェクト関連予算、土地、施設等受け入れ態勢は決められたとおりに実行されたか等）

オロ漁業センター案件の実施条件は、昨年度に引き続き、老朽化した同センターの建屋を PNG 政府資金で改修し、それが巡回指導前に完了することであった。

しかしながら、建屋の敷地内の不発弾の処理に時間を要し、建屋の改修工事は年度内に開始することすらできず、本案件は着手できなかった。

◆ 効 率 性

1. 事業費及び実施期間

オロ漁業センター案件が実施できなかったことから、専門家派遣の旅費及び実施期間は、計画額・日数よりも大幅に減少した。

同センター案件は、敷地内での不発弾処理問題が原因となり建屋の改修工事に着手できず、プロジェクト活動項目の一つが実施できなくなった。

本案件は外部要因による未実施であり、それ以外は効率的であった。

2. 資機材、施設、専門家はタイミングよく投入され、期待された機能、能力を発揮していたか

専門家及び必要な資機材については、実施計画に従いタイミングよく投入され、プロジェクト活動は計画期間内にすべて完了したことから、それぞれ期待された機能及び能力を発揮した。

ただし、オロ漁業センター案件については、同センター敷地内での不発弾処理に時間を要し、NFAによる漁業センター建屋改修工事が進捗せず、専門家は現地で現状確認調査を実施するにとどまった。

3. 移転技術はカウンターパートの習得水準に適合していたか

移転技術は、専門家がこれまでの技術指導の経験から、カウンターパートの技術水準を把握しており、実施に当たっては適切な指導が行われたことから、カウンターパートの習得水準に適合していた。

4. 状況の変化、教訓・提言等に応じて実施計画、活動項目は、適宜見直されていたか

当初締結した覚書・実施計画に含まれていたオロ漁業センター案件は、センター建屋改修工事が進捗しないことから、双方合意の上、実施計画から削除した。

5. その他（プロジェクトの効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等

オロ漁業センターの修理・修復及び技術指導は、元々2021年度の案件であった。相手国側の投入としているセンター建屋の改修工事が、同敷地内で発見された不発弾の処理に時間を要し、進捗しなかったため、4か年にわたって案件の完了に至っていない。相手国側からは、「2024年度に不発弾の処理を終了し、工事の開始と早期終了を優先事項として手続きを進めている」との報告を受けているが、本報告書作成時点で確認されておらず、進捗状況について引き続き注視していく必要がある。

有効性

1. プロジェクト目標の達成度

①プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標：当該関連施設が修理・修復され、当該施設の維持・管理に係る技術が向上する

案件1及び3は計画どおり実施された。対象施設は修理・修復され機能を回復し、講習会実施により製氷機オペレーター等の製氷機の維持・管理に係る知識や技術が向上した。また講習会開催を通じてカウンターパートは講師としての知識及び技術レベルを向上させた。これらのことからプロジェクトの目標は達成された。

一方で、案件2のオロ漁業センター案件は、同センター敷地内で発見された不発弾処理

に時間を要し、NFA はセンター建屋の改修に着手することができなかった。

本案件は外部要因による未実施であり、当該案件を除けばプロジェクト目標は一定程度達成された。

②その他（プロジェクト目標の達成度と外部要因との関係等）

オロ漁業センターの案件については、2024年5月の事前調査時に、建屋改修のための業者との契約手続きが進展しているとのNFAからの報告を受け、早々の完工を見越して案件を採択したが、工事業者が工事予定地の不発弾調査を求め、PNG Defense Force による調査が実施されたことから、建屋の改修工事に着手することができず、当初予定した製氷機他の設置は実施できなかった。

2. プロジェクト活動項目及び期待された成果の達成度

① ロレンガウ漁業センターの機能強化及び技術指導

期待された成果：ボート、車両等の供与により漁獲物集荷及び氷配達が安定的に実施可能となり、周辺沿岸漁民の漁業活動が活性化される。また、カウンターパートがそれらの運用及びメンテナンスについてセンターの管理者に指導できるようになる。

マヌス州政府海洋漁業資源局に、2ストローク60馬力船外機付き23ftFRPボートを供与し、さらにピックアップトラックを換装したことにより、離島で漁獲された水産物の集荷、集荷した漁獲物の島内内陸部への販売及び同局で製造した氷の対象沿岸漁民への販売が、安定的に実施可能となった。

NFCのカウンターパートには、ボート及びピックアップトラックの運用法を指導・助言し、カウンターパートはそれらを漁業資源局の管理者に指導できるレベルに達した。

この案件によりロレンガウ漁業センターの機能が強化され沿岸漁民及び州民全体への裨益につながる。併せて、同センターの活動が多様化し同州の収益が高まることが期待される。

② オロ漁業センターの修理・修復及び技術指導

期待された成果：新型の製氷機、冷凍庫、ブラストフリーザーの設置要領と試運転時のポイントを確認し、更に関連する知識を習得すること。

漁業センター建屋の改修工事を実施する業者とNFAとの契約は締結されたものの、建屋敷地内の不発弾の処理に時間を要し改修工事を開始することができなかった。そのため、本案件のプロジェクト目標を達成できず、当該案件は次年度案件として実施されることとなった。

外部要因によりプロジェクト実施期間内に完了しなかった本案件を評価することは適当ではないと判断されることから、評価対象外とする。

③ 冷凍機器講習会の開催

期待された成果：漁業センターで製氷機を運転しているオペレーターが製氷機のトラブルシューティングや簡単なメンテナンスの知識と技術を習得し、安定的な稼働に繋がる。

全国 10 か所の製氷施設オペレーター等の参加者 12 名を対象に、NFC メインキャンパスにて、三相交流電気に関する知識並びに直流及び三相交流電動機の起動回路の作成や冷凍装置の基礎理論について、専門家が独自に作成したアプリ等を利用し座学を実施した。NFC ウォーターフロント施設では、過去に FDAPIN で供与されたプレート型製氷機 2 機（日産 250Kg、700Kg）、ブロック型製氷機（日産 250Kg）及びシミュレーターを用いて製氷機及び冷凍機器の原理を教え、更に冷媒補充方法や冷凍機油交換方法の実習を実施した。

この講習会により、オペレーターが製氷機のメンテナンスやトラブルシューティングを理解したことに加え、NFC カウンターパートがそれらについてオペレーターに指導できる技術と知識を習得したことにより、本活動項目及び期待された成果は達成された。

◆ インパクト

1. プロジェクト上位目標の達成に対し、プロジェクト目標の達成の効果はどの程度見込まれるか

本プロジェクトの実施により、漁業センターの機能が強化され、機械メンテナンス並びに供与した資機材の運用及び漁業センター運営に関するカウンターパートの知識や技術が向上するとともに、同センターの施設管理・運営能力が高まった。また、各漁業センターで製氷施設を管理するオペレーターが製氷機に関する知識と技術を習得したことから、プロジェクト目標は達成された。

このことが今後の各漁業センターの順調な稼働に貢献すると期待されることから、上位目標である対象施設周辺地域の漁業生産の増加及び小規模漁業の発展の達成にも寄与する。

2. プロジェクトは相手国・対象地域の政策形成、社会・経済等でどのような直接的・間接的な効果または負の影響が見込まれるか

本プロジェクトの実施により、漁業センターが適切に運営され、周辺漁民にサービスが円滑に供給されることが期待される。今後、漁業センターが順調に運営され、供与した資機材が活用されることが期待できる。漁獲物の販路拡大や品質向上に伴い漁民の所得向上が期待されることから、対象地域の経済活性化への直接的な効果の発現が見込まれる。

3. その他（ターゲットグループに対するインパクトや、プロジェクトの計画当初予見できなかった効果または負の影響が見込まれるか等）

特になし。

◆ 持続性

1. プロジェクト終了後もカウンターパート及び供与された資機材は有効に活用されるか

カウンターパートは NFC 技術者、地方のエンジニア及び施設のオペレーターで、プロジェクト終了後も引き続き本施設の管理を担当する予定である。

供与された資機材は、各漁業センターの稼働及び運営・管理に必要なものであり、プロジェクトを通じてカウンターパートに適切に技術移転されたことから、プロジェクト終了後も有効に活用される。

2. プロジェクト終了後も効果が持続される見込みか

本プロジェクトによりロレンガウ漁業センターの機能が強化され、各漁業センター製氷機のオペレーターの知識及び技術が向上したことにより、継続的な活動を可能にする人的・物的環境が向上した。また、PNG 当局は当該漁業センターの運営が同国の沿岸漁業振興に不可欠であることを認識している。したがって、本プロジェクト終了後も、この効果は持続的に発揮される見込みである。

3. その他（持続性に影響を与えると考えられる貢献・阻害要因等）

特になし。

以上